

## 自己評価結果表【タイプB】（児童養護施設）

### 共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

#### 1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	事務所、食堂、地域交流ホーム、各児童棟などにわかりやすく掲示しており、周知を図っている。

#### 2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	社会福祉法人経営者協議会などの研修に複数職員で参加し、施設経営に関わる現状の把握に努め、職員会議等で分析を行っている。
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a	児童グループの小規模化の推進など、現状取り組むべき課題を分析し、事業計画に反映させると共に、地域小規模施設の新設など具体的な取り組みも行ってい

#### 3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	中・長期的ビジョンは文書化され、職員会議等で配布と説明を行い、意見の吸い上げと周知に努めている。
② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	中・長期的ビジョンを年間計画に落とし込むため、繰り返し検討を行い十分に反映できる体制づくりをしている。
(2) 事業計画が適切に策定されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	事業計画は文書化し全体に配布。内容について職員会議で検討を行い、実施状況の報告を踏まえ評価・見直しを行っている。
② 7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b	入所児童に対してはわかりやすく説明を粉う機会を設けているが、家族の状況によっては説明の機会を設けることのできない家庭もあり、100%とは言えない。

#### 4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	研修委員を設置し、内部・外部の研修を計画的に受講できる体制づくりを行っている。
② 9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	援助指針計画の作成と評価、児童個別のケース検討、LSWの実施等。

### Ⅱ 施設の運営管理

#### 1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	職員会議や連絡会などで日常的に施設長の役割や位置付け、責任の所在を職員に説明している。
② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	法令順守、特に虐待等の児童に関わる点については、職員会議でも取り上げるほか、連絡会等で日常的に職員に周知されている。
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	リーダーカンファレンスなどの職員参加の研修に施設長も参加し、養育・支援んほあり方について共に検討を行い、その向上に努めている。
② 13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a	業務の大枠だけでなく細かい部分に関する報告も受け、改善に向けた指示やアドバイスをやっている。

#### 2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	幅広く募集をかけ、人材の確保に努めている。また受け入れた実習生が就職したいと考えられるよう、環境の整備に努めている。
② 15 総合的な人事管理が行われている。	c	業務の内容として一律に人事考課が行える業種ではないため、現状では数値化した人事管理は行われていない。
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	自己評価結果	【判断した理由・特記事項等】
① 16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	職員の希望や家庭の状況などを考慮して休日を決めたり、業務形態を検討するなど働きやすい職場環境の確立に努めている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	研修委員を設置し、内部・外部の研修を計画的に受講できる体制づくりを行っている。
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	研修委員を設置し、内部・外部の研修を計画的に受講できる体制づくりを行っている。
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a	計画的に研修等が受講できる体制づくりをしており、それぞれの職員が偏りなく学習の機会が得られるようにしている。
(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	実習生担当職員を複数配置し、実習のあり方や支援について繰り返し検討を行っている。

### 3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	運営の現状、方針等は職員会議で説明を行い、周知に努めている。またホームページ・SNSで広く情報を公開している。
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	運営の現状、方針等は職員会議で説明を行い、周知に努めている。またホームページ・SNSで広く情報を公開している。

### 4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	ふれあいキャンプや学苑祭、世代ふれあい広場など、子どもが地域の方々と交流する機会を多く設けている。
②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	ボランティア受け入れのマニュアルを作成、担当職員を配置し対応を行っている。
(2) 関係機関との連携が確保されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	各種関係機関と密に連絡がとれる体制づくりに努めている。
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	地域の方々を招いて研修を行い、その際にアンケートを書いていただき、地域のニーズの掘り起こしに努めている。
②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	レスキュー事業により、生活困窮者への支援を行っている。

## III 適切な養育・支援の実施

### 1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	新人職員研修や各種苑内研修、カンファレンスの実施などにより、共通理解の確立ができるようにしている。
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a	児童は極力個室で生活できるようにしており、個室でなくても部屋をセパレートするなど、プライバシーが確保できるようにしている。
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a	子どもには各棟の職員より、保護者にはFSWを中心として情報の提供に取り組んでいる。
②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b	保護者によっては説明の機会を設けることが難しいケースがあるため、全ての保護者に十分に説明を行っているとは言えない。
③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a	支援の切れ目ができないよう、変更・移行の際には各種相談援助職員の役割を説明し、今後も支援を行っていくことを伝えている。
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	意見箱の設置や子ども会議の実施、食事に対する意見箱の設置など、子どもの意見を吸い上げ、それを実際の支援に反映できるよう努めている。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情解決の在り方については子ども会議総会などで繰り返し説明を行っており、また各棟に掲示を行い周知に努めている。
②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a	意見箱の設置や子ども会議の実施、食事に対する意見箱の設置など、子どもの意見を吸い上げ、それを実際の支援に反映できるよう努めている。
③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	意見箱の意見には担当職員がすぐに対応できる体制をとっている。子ども会議等の意見は職員会議で検討を行っている。
(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	ヒヤリハット、事故報告書等で危険を把握し、情報の共有を行っている。
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	感染症マニュアルを作成し、その周知に取り組んでいる。
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的にしている。	a	毎月災害訓練を行い、全体で災害時の子どもの安全が確保できる体制をとっている。

## 2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a	1日の流れについて書面で職員に配布している。注目すべき事柄については速やかに施設長に報告、その後対応するような流れができています。
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	1日の流れなど日課について定期的に会議の中で話がされている。
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a	子ども一人ひとりに合わせた自立支援計画の策定をしている。
②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a	4月、9月、翌年の1月の3期に分けて計画、評価、見直しを毎期行っている。
(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	日誌、ケース会議にて記録の管理ができています。
②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	記録は書面にして事務所で管理している。

### 内容評価基準（25項目）A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	外部講師を招いて子どもの権利擁護に関する研修を行っている。子どもにもわかりやすく説明するために小学生、中学生、高校生と年齢に応じた研修を行っている。
(2) 権利について理解を促す取組		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a	外部講師を招いて子どもの権利擁護に関する研修を行っている。子どもにもわかりやすく説明するために小学生、中学生、高校生と年齢に応じた研修を行っている。
(3) 生き立ちを振り返る取組		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	a	子どもからの要望がある場合や卒苑前などに職員と一緒に生き立ちを振り返りが必要があればLSWも取り組んでいる。
(4) 被措置児童等虐待の防止等		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a	定期的な研修を職員、子ども共に年に複数回行っている。
(5) 子どもの意向や主体性への配慮		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a	LSWを学苑全体として取り組んでいる。外部から講師を招いて研修なども行っている。
(6) 支援の継続性とアフターケア		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A6 子どものもそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a	担当、FSW、職業指導員が連携してアフターケアを行うことで不安の解消に努めている
②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a	卒苑生のケアを必要に応じて行っている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a	普段から子どもの言葉に耳を傾けると共に毎週、茶話会で子どもの意見を聞いている。
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活をいとなむことを通してなされるよう養育・支援している。	a	子ども達からの要求を叶えるとともに社会的規範を逸脱しないように担当が主となって養育を行っている。
③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a	子どもの意見を聞ける場所、聞き取れる機会を多数設けており自主的に行動ができるような環境作りに取り組んでいる。
④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a	公文式を取り入れており子どもの進捗状況に合わせた学習を行うことができている
⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a	日々の生活の中に社会性を身に付けられるように支援を行っている。
(2) 食生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a	子どもの意見をメニューに取り入れている。誕生日の日にはその子どものリクエストメニュー及び誕生日ケーキ等が出されることとなっている
(3) 衣生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a	毎月のお小遣い、諸費等を担当と計算しながら自由に洋服を選んで購入している。
(4) 住生活		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a	子どもの部屋、ロビー、食事の場、お風呂、台所など毎日職員が掃除をしており衛生面に気を付けながら支援をしている。日曜日には子どもと一緒に掃除をする
(5) 健康と安全		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a	毎日、朝食の際に体調不良の子どもがないか注意してみている。必要があれば看護師を中心に通院するといった流れとなっている。
(6) 性に関する教育		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a	小学生、中学生、高校生と子どもの発達に応じた性教育を行っている。毎年、外部講師を招いて研修会を行うこととなっている。
(7) 行動上の問題及び問題状況への対応		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a	子どもの問題行動に対して各様の職員で対応。必要に応じて個別対応職員や基幹的職員が関わりながら全体の問題として会議でもあげていきより良い養育を行っている。
②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a	職員、子ども共に権利擁護の研修を行いイジメ、暴力に関しても苑全体で防止に努めている
(8) 心理的ケア		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a	必要に応じて心理士のセラピーを行っている。
(9) 学習・進学支援、進路支援等		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a	入所児童には公文式学習を取り入れている。学年や年齢ではなく学力に応じた学習となっており毎日の日課となっている。
②	A22 「最善の利益」にかかった進路の自己決定ができるよう支援している。	a	担当、職業指導員と共に進路について決定していく。最後は子どもの意志により進路は決定する。
③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	a	高校生よりアルバイトを行い社会経験ができるように支援をしている。職業指導員がアルバイト先に行き店長等と細かな連携を取りながら支援をしている。
(10) 施設と家族との信頼関係づくり		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a	FSWを中心に家族との信頼関係を築いている。必要に応じて担当も入り学苑、学校状況などを説明。施設での生活を随時保護者に伝えており協力して支援できるような体制を整えている。
(11) 親子関係の再構築支援		自己 評価結果	【判断した理由・特記事項等】
①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a	FSWを中心に親子関係の再構築を行っている。児童相談所を始め各関係機関と連携を取り子どもにとって良い影響になるような交流を定期的に行っている。